

エイジフレンドリーシティ 行動計画ワークショップ

テーマ2 エイジフレンドリー普及啓発情報発信

かわら版

第2回

日時:平成24年10月30日(月) 午後6時30分～午後8時
会場:アルヴェ 3階 市民交流サロン
進行:NPO法人あきたNPOコアセンター
主催:秋田市

当日の流れ

- 6:30～ 開会
前回のふりかえり
- 6:40～ 意見交換
「情報の発信相手は？」
「どの主体(相手)に
何を期待するか？」
- 7:20～ 意見交換
「事業案のアイデア出し」
- 7:50～ グループ発表
8:00 終了



「話し合いに大切なのは“創造性”」



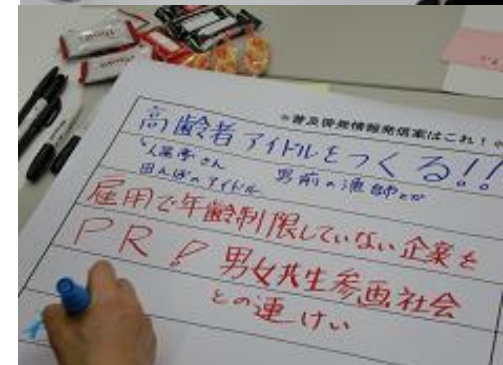
グループでの意見交換の前に、ファシリテーター(進行役)からこんなお話しが。「話し合いに大切なのは**創造性**です。今回のワークショップは、秋田市での新しい取り組み。アイデア出しの段階では、制限なく色々な案を出して行きましょう!」。こんなこと無理だよな、こんなこと言ったら変だと思われるかも…。そんな遠慮をとりはらった**自由な雰囲気**のなかから、思いがけないアイデアが生まれるもの。色々な人の考えが重なって、新しいものが生み出されるのがワークショップの醍醐味なんです!

普及啓発情報発信の事業案を考えよう

後半は、エイジフレンドリーシティの普及啓発情報発信についての**事業案(プラン)**について、グループ毎にアイデア出しを行いました。アイデア発表後は、自分のグループ以外のプランで、「これは良いな!」というものにシールを貼って投票。以下のような案が出されました。

- 高齢者**アイドル**をつくる(田んぼのアイドル・エイジフレンドリーAKBなど)
- バスケットボールチーム「**秋田ノーザンハピネッツ**」のユニフォームにエイジフレンドリーの文字を入れてもらう
- 高齢者の特技を披露し、知識・経験の豊富さを知ってもらう「**自慢大会**」の開催
- **金融機関**に地域コミュニティの場として情報発信
- エイジフレンドリー**漫談**
- 雇用で**年齢制限**をしていない企業をPR。男女共生参画社会との連携
- 若者には**ワークショップ**で話し合い、理解を深めてもらう。SNSを使った情報発信も期待。

皆さんとても創造的に、たくさんのユニークなアイデアを出してくださいました。次回はこれらのアイデアを絞り込み、より具体化していきます。



情報を届ける「主体(相手)」って…?

情報を発信するということは、当然ながら情報の「**受け手**」の存在があります。情報を発信するには、「**どういう主体**」に、「**どんな情報発信**」をするのか、また、それによってその主体に「**何を期待するのか**」を考えることが重要です。幅広く一般に周知するのも大切ですが、ターゲットにピンポイントに打ち込む、「**効く**」情報発信を考えていきたいものです。



● 例えば…

家族・医療機関・小中高大の学生・若者・企業・主婦・海外の人
団塊の世代・ボランティアグループ・町内会・老人クラブ
消費団体 等々